

項 目	評価	考察
子どもの姿と子ども理解と援助、特性理解	A	・子どもたちは、明るく元気で園を楽しみにくる子がほとんどです。ごくわずか「どちらともいえない」と答えています。子どもが毎日、喜んで登園できるよう遊びの継続性等を考慮してこれからも保育していかなければと思う。ひとり一人のこどもについて理解を深めるために職員間で話し合ったり、専門の先生や支援センターやカウンセラーの先生の意見を聞き対応している。より子どもを中心にした保育を展開をしていくようにしたい。
保育活動について	A	・今年度は、藤枝私立幼稚園・こども園協会の研修で当園が、公開保育の担当園になっていたということもあり、年度当初から、子どもの発達段階や興味を理解し、時季に合わせた遊び込み活動を教師間で意識して取り組んできた。教師一人ひとりが意識できたため、理想的な保育活動が概ねできたと回答する職員が多かった。 昨年度は、猛暑でプール活動が十分に出来なかったため、今年度は、頻繁に沢あそびに出かけるなど自園の特色でもある豊かな自然をうまく取り入れながら保育をしてきた。その結果、例年だと数名は、水を怖がる子どもいるが、今年度は怖がる子がおらず、全園児が思い切り水遊びを楽しむことができた。また、散歩活動は、開放感もあり、子どもたちの言葉も多く聞かれ、次年度も引き続きたくさん実施していきたい。 常に子どもの興味関心を捉えて、楽しみのある保育をしていきたい。
保護者対応について	B	・共働きの保護者の方が多く、早朝から夕方まで園にいる子もいる。その日の様子等直接先生に聞きたい保護者もいらっしゃると思われるが、職員の勤務も開所時間に対応しているため（シフト勤務）、保護者との十分な会話ができないのが現状である。担任としては、直接伝えられる時はよいが、そうでない時は、連絡ノートやAPPSなどを利用し連携を図ってきた。また、希望制で保育参加や面談（1学期末、3学期はじめ）を設けている。子どものことについて保護者と話し連携をとっていくことは、とても大切なことなので、園からの発信も積極的にを行い、信頼関係を築き安心して園に子どもを預けられるようにしていきたい。
職員同士の関わりについて	A	・毎週木曜日に職員打ち合わせを行っている。しかし、預かり保育もあり、全員でということではできない。各担任、主任、園長が集まるとどまっている。いつも子どもがいるので、職員みんなで話し合うということができないのが悩みでもある。しかし工夫しながら職員間の連携を充実させることで職員一人ひとりが気持ちよく働けるのではないと思われる。子どもたちにもよい影響を与えることなので、意識してコミュニケーションをとるよう心がけていきたい。
建学の精神、園目標、教育要領理解について	B	・こども園の目標等を表にしたグランドデザインを職員に分けて、理解してもらうよう努めている。子どもたちが健やかに育つ大事な時なので、理解していかななくてはならないと思う。時々勉強会を持てれば良いと思う。
地域の自然や社会との関わりについて	A	・西北地区は自然豊かで、四季折々の自然を感じながら散歩に行くにはとても良い所だと思う。子ども達は虫や花木の実を探したり、川の中に入る事等がとても好きで、開放的になり、言葉も多く聞かれる。また、歩く登る等を通して体力もついたと思う。近所の方に会うと挨拶をお互いに交わしている。保護者アンケートでも「地域や自然との関わりがあるか」との問いに「はい」と100%の回答が得られた。次年度も意欲的に取り組んでいきたい。
保育者としての資質と能力・研修について	C	・保育者として、いつも健康であるよう自己管理に努め、保育の質を高めるための自己研鑽は常にしていかななくてはならない。研修の機会があればなるべく参加できるようにしているが、十分に参加できないのが現状である。日々に追われこなすことでいっぱい「やや出来ていない・やや不満」「出来ていない・不満」と回答した職員がいた。次年度も毎学期の終わりに研修をしたり、県私幼の研修に個別に参加するなど自己の保育の質を高まるようにしていきたい。良い本があれば他の職員に勧めたりもしていきたい。
安全について	B	・門扉は簡単に開けられるし、フェンスは飛び越えられる高さである。防犯カメラ4台が、園の周りを写して記録している。門扉の開閉は、その都度、していただくように保護者をお願いしてきたところ徹底できている。不審者対策として、隠語を教え園児と職員で訓練をした。次年度は、警察官に不審者になってもらい防犯教室を開くようにしたい。また、登降園時は、車を降りたら必ず親子で手を繋いで来てもらうよう啓発している。散歩の時も必ず複数の職員で連れて行くようにしている。また、毎日園児の出欠席を確認し、常に安全確認をしている。 ・身体測定や夏の着替え等については、市の補助を受け、パーティションを購入し配慮している。夏場は、園外から覗かれないようにカーテンを使用するようにした。
評価委員意見 ・「子ども中心の保育」が実施されていて子ども達が安心して楽しく過ごせているということが分かりました。 「保育者としての資質と能力」についても振り返りや共有（時間の確保）などの考えを進めていくと更に良くなると感じました。 ・園内の安全性について、門扉やフェンスのことが挙がっているが、年齢が高くなるにつれて運動能力も発達し、フェンスを飛び越えたり門扉を開けてしまったりという危険が考えられます。保護者への協力はもちろんですが、クラス活動中、預かり保育中もより注意していただいて「（フェンスを）飛び越えてしまうかもしれない、門を開けてしまうかもしれない」という意識を忘れず、外遊びの監視をお願いします。 ・子ども主体の保育を基盤とし、安心できる環境の中で健やかな成長を支える体制が整っていると評価いたします。今後は、現在の高い水準を維持しつつ、安全対策や情報発信の充実を図ることで、より一層の園運営の向上を期待します。		